

新渡戸文化中学校入試における報告書の作成について

新渡戸文化中学校に出願する際の報告書は、本校の指定様式により次の要領で作成をお願いします。報告書は点数化し、判定に用います。注意事項をよく読んで記入し、小学校長またはフリースクール等の代表者の公印を押してください。作成後、厳封の上、志願者に渡してください。

＜報告書の作成について＞

1 「学籍の記録」欄
(1) 児童氏名・フリガナ 児童氏名の文字は、原則として住民票に記載されているものを使用する。ただし、住民票に記載されている文字が印字できない外字である場合、その文字を常用漢字で代用しても差し支えない。
(2) 転入学等 小学校に転入学または編入学した志願者については、転入学等の欄に転入学等の年月および前在籍校名を記入する。該当のない場合には、斜線を引く。
2 「各教科の学習の記録」欄
(1) 観点別学習状況 小学校学習指導要領(平成 29 年文部科学省告示 63 号)に示された各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、C の記号により記入する。この場合、「十分満足できる状況と判断されるもの」を A、「おおむね満足できる状況と判断されるもの」を B、「努力を要する状況と判断されるもの」を C とする。
(2) 評価 各教科の学習の状況について、小学校学習指導要領に示された各教科の目標に照らして、その実現状況を総合的に評価し、3、2、1 の 3 段階で記入する。この場合「十分満足できる状況と判断されるもの」を 3、「おおむね満足できる状況と判断されるもの」を 2、「努力を要する状況と判断されるもの」を 1 とする。
3 「出欠の記録」欄
第 6 学年の出欠の記録について記入する。
4 「行動の記録」欄
第 6 学年の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、その他学校生活全体にわたって認められる児童の行動について、項目ごとにその学年別の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

＜報告書作成上の留意点＞

(1) 小学校卒業見込者については、志願者が在学している小学校の教職員が記載者となる。ただし、フリースクール等を恒常的な通学の間としている場合は、その施設の担当者を記載者としても良い。
(2) 第 6 学年の欄については、第一学期及び第二学期の評価等を十分参考として令和 8 年 12 月 31 日現在における児童の評価等を記入する。
(3) 字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
(4) 何らかの理由で報告書の項目に記入できない欄がある場合については、報告書の所定の欄のうち記入できる事項についてのみ記入し、記入できない欄については斜線を引く。その場合、小学校長または施設代表者は記入できない欄についてその旨を明らかにした理由書(様式任意)を提出してもよい。当該小学校長は報告書の記載内容に誤りがないかについて確認した後、公印を押して内容を証明する。

<記入例>

記入例

報 告 書

※ 受験番号	
-----------	--

新渡戸文化中学校長 殿

指導要録の記載と同じであることを確認する

該当がない場合は斜線を引く

学籍の記録	フリガナ	ニ ト ベ タ ロ ウ		性別	年 月 編入学		
	児童氏名	新渡戸 太郎		男	転入学等 小学校から転学		
	生年月日	2014 年 10 月 16 日生		卒業見込	9 年 3 月 卒業見込		
各教科の学習の記録				出欠の記録		行動の記録	
観点別学習状況			評定	区分	日数	項目	評価
教科	観点	評価		授業日数	152	基本的な生活習慣	○
国語	知識・技能	A	3	出席停止・ 忌引き等の 日数	2	健康・体力の向上	
	思考・判断・表現	A				自主・自律	○
	主体的に学習に取り組む態度	A				責任感	
社会	知識・技能	A	3	出席しなければ ならない 日数	150	創意工夫	
	思考・判断・表現	A				思いやり・協力	○
	主体的に学習に取り組む態度	A				生命尊重・自然愛護	
算数	知識・技能	B	2	欠席日数	5	勤労・奉仕	○
	思考・判断・表現	B				公正・公平	
	主体的に学習に取り組む態度	B				公共心・公德心	
理科	知識・技能	A	3	出席日数	145		
	思考・判断・表現	A					
	主体的に学習に取り組む態度	A					
音楽	知識・技能	B	2				
	思考・判断・表現	B					
	主体的に学習に取り組む態度	B					
図画工作	知識・技能	A	3				
	思考・判断・表現	B					
	主体的に学習に取り組む態度	A					
家庭	知識・技能	B	2				
	思考・判断・表現	B					
	主体的に学習に取り組む態度	B					
体育	知識・技能	A	3				
	思考・判断・表現	A					
	主体的に学習に取り組む態度	A					
外国語	知識・技能	A	3				
	思考・判断・表現	A					
	主体的に学習に取り組む態度	A					

該当する項目のみ○を記入

2026年（令和8年）12月31日以降に
に作成した日付を記載する。

上記記載事項に相違ありません。

2027 年 1 月 7 日

記載者氏名 森本 次郎

〒164-8638

学校所在地 東京都中野区本町6-38-1

電話番号 03-3381-0408

フリガナ ナカノクリツイナゾウショウガッコウ
学校名 中野区立稲造小学校

校長名 中野 三郎

公印

(注意) ①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。

②※印の欄には記入しない。

Q & A

Q 1 報告書はパソコンで作成してもよいのですか。

A 1 報告書は、パソコン又は手書きで作成できます。パソコンで複数の受験者の報告書を作成する際は、性別や生年月日等が他の児童と混同しないよう留意し、作成後は、必ず管理職を含む複数の者で御確認ください。「報告書作成のためのチェックリスト」も併せて御活用ください。

Q 2 報告書の作成年月日は、任意の年月日でよいのですか。

A 2 第6学年については、第一学期及び第二学期の評価等を十分参考にして令和8年12月31日現在における児童の評価等を記入します。したがって、報告書の作成年月日は、令和8年12月31日以降となります。

Q 3 小学校に通学していない場合、フリースクール等で作成しても良いのですか。

A 4 原則として在籍のある公立または私立の小学校で作成してください。ただし、特別な事情でフリースクール等に恒常的に通学している場合や、その通学を小学校の出席日数として認めている場合は、それらの施設職員によって作成することができます。ただし、その場合でも記載する項目は「新渡戸文化中学校入試における報告書の作成について」の内容に準じて作成してください。

Q 4 押印は公印のみを用いるのですか。

A 4 報告書の押印は、公印のみです。公印が押印されていることを必ず確認してください。フリースクール等で作成する場合は、社判等を押印してください。

Q 5 手書きで作成した際に、訂正がある場合は、どのように記載すればよいですか。

A 5 訂正箇所を二重線で消し訂正事項を記入します。
余白に「〇〇字削除 〇〇字加入」と訂正字数を明示し、公印を押印してください。

報告書作成のためのチェックリスト

報告書を封筒に入れる前に、再度下表の確認事項をお読みいただき、確認欄にチェックを入れてください。記入漏れ等を防ぐため、確認は必ず複数人で行うようお願いいたします。

なお、本チェックリストの提出は不要です。

確認項目		確認欄
記録の記入	児童氏名は楷書で正しく書かれ、フリガナはカタカナで記入されている。 (斉と齋、辺と邊のように表記が他の提出書類と異なることのないようにしてください。)	☐
	生年月日が正しく記載されている。	☐
	性別は正しく記入されている。	☐
	転入学等の時期、前籍校名が正しく記入されている。※該当しない場合は斜線 (＼)	☐
	卒業見込みは「令和9年3月」となっている。	☐
	観点別学習状況、評価は漏れなく記入(または斜線)されている。 ※観点別学習状況はA、B、C、評価は3、2、1	☐
	行動の記録には、十分満足できる状況にあると判断されるものについて○印が記入されている。	☐
押印等	日にちは、令和8年12月31日以降になっている。	☐
	記載者氏名は正しく記入されている。	☐
	学校所在地・電話番号が正しく記入されている。	☐
	学校名は〇〇立〇〇小学校(フリースクール等の場合は正式名称)と正しく記入されている。	☐
	校長または施設の代表者名は正しく記入され、公印は正しく押されている。	☐